

ひびき久間

令和6年 1月 1日

1月号 第174号

発行
久間地区地域コミュニティ
運営協議会 事務局
嬉野市塩田町久間乙1920-1
電話66-5516 (Fax 同じ)
文責 事務局長 前田 直

新年あけまして
おめでとうございます



皆様におかれましては、新しい年を迎えられ健康にお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年、新型コロナウイルスも発生から四年が経過し、ようやく終息の兆しが見えて五月には第五類に移行しました。コミュニティの事業計画も予定通りに実施することができるようになりました。今までできなかった学校と地域の合同運動会も四年振りに対策を話し合いながら種目を少なくして実施することにし、結果的には子供たちと地域の人たちとも交流ができ、和気あいあいと楽しく終わることができたと思います。また、その他の部会活動も地域の皆様方の協力を得ながら計画通りの活動ができ、感謝しております。

今年も、地域の皆様の協力を得ながらより一層の活動を実施していく所存でございます。どうぞ宜しく協力の程お願いいたします。今年も皆様方にとって良い年でありますようにご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

令和六年 元旦

久間地区地域コミュニティ運営協議会

会長 志田 勝英

「新鮮野菜直売&バザー」賑わう！

地域づくり部会



たくさんの新鮮野菜

年の瀬の12月29日(金)、久間コミュニティセンター敷地内で恒例の「新鮮野菜直売&バザー」が開催されました。地区内の生産者さんから出品していただいた米、大根・白菜・カブ・白菜などの野菜類や菊の花などの正月に向けての品物を取り揃え、朝9時から販売を開始しました。

すでに販売開始時刻には約40名が並ぶなど、好天にも恵まれ多くの買い物客でにぎわいました。地元で店を出す夢を持った若者の出店もありました。同時に開催した「バザー」も、今年は地域の方から善意で拠出していただいた品物の数も多く、多目的会議室にびっしりと並べられ、これも盛況でした。

交通弱者の方々が近くで正月用品を購入できるようにと、地域づくり部会で計画し、生産者さんに安い値段で出品していただいている野菜直売ですが、しっかりと定着し久間の年末の風物詩となつてきています。買い物と同時にみんなが触れ合える楽しい場所の提供を



多くの買い物客で賑わって、会話が弾みました！



部屋いっぱいのバザーの品物

これからも工夫して続けていきたいと思っております。

また、バザー用品を出して下さった方で、一緒に社会福祉協議会に寄付してくれと一年間集めた小銭を持参してください。バザー益金とともに社会福祉協議会に寄付させていただきます。

**親あで休ったしめ縄
でお正月飾り**

12月16日(土)久間小学校で「親子しめ縄づくり体験」が開催されました。雨の為今年も体育館で行われました。6年生とその保護者が北志田老人会やコミュニティ会員の指導・手助けを受けながら自宅で飾るしめ縄づくりに挑戦しました。コミュニティで準備したワラを束にして、架台にゴムチューブで固定して3人で右にねじりながら左回しで組み込んでいきます。指導を受けながら親子での作業。手作りのしめ縄で飾った今年のお正月は格別でしょう。最後は参加者総勢54名で記念写真を撮りました。

青少年育成部会



3人で呼吸を合わせて



立派なしめ縄が次々に

みんなで記念撮影→



☆地域連携の教育活動☆

むかし遊び&お茶パーティ



「おいしくな〜れ!」



竹馬は手ごわいですが(^^)

12月14日(木)久間小学校でむかし遊び&お茶パーティが開催されました。一年生が植えて収穫したお芋を食改協の皆さんを中心に家庭科室で蒸かしてもらい、その間子供たちはサポーターとむかし遊びをします。

健康福祉部会



クリスマスプレゼントを手渡し

ていただきました。取った方から感謝の言葉が事務局へも届いています。

健康福祉部会では毎年心ばかりのクリスマスプレゼントに久間小5・6年生のメッセージカードを添えて高齢者独居世帯へ届けています。昨年年末も各地区の民生委員さんをお願いして74世帯に届けていただきました。今年も部会員のメッセージも添えて。受け取った方から感謝の言葉が事務局へも届いています。

高齢者独居世帯に年末のクリスマスプレゼント

事務局長雑感

「明けましておめでとうございます」今年一年がよい年になりますようにという、特別な日に能登半島地震が起こった。帰省して久しぶりにそろうた家族で楽しいひと時を過ごしていたであろう元日の夕方に震度7の揺れ。その被害は一週間たってもはつきりせず、死者・安否不明者の数も増えるばかりだ。二日にはその被災地に救援物資を運ぶ予定の自衛隊機に日本航空の旅客機が衝突、炎上という痛ましい事故も起きて、今年の日本はどうなるのだろうか。誰かが思ったのではないだろうか。神社への年始参りで普段は家内安全くらいしかお願いしないのだが、被災地の方々の安全や復興なども欲張ってお願ひせずにはいられなかった。こんなにも簡単に日常は壊れるのだ。そしてこれは地震国日本に住む限りどこの地域でも起こりうることだ。このような災害ではまず公的な援助の前に近所や消防団、地域のコミュニティなどが対応することになる。日ごろの地域コミュニケーションと危機管理が少しでも二次被害を少なくするのではないだろうか。



子どもはすぐうまくなる



今年のイモはおいしかった!

青色防犯パトロール活動担当地区のお知らせ

午後3時15分~4時15分まで

1月 北下久間
2月 南下久間

よろしく
お願いします

